



標的型メール攻撃が ますます巧妙化!!

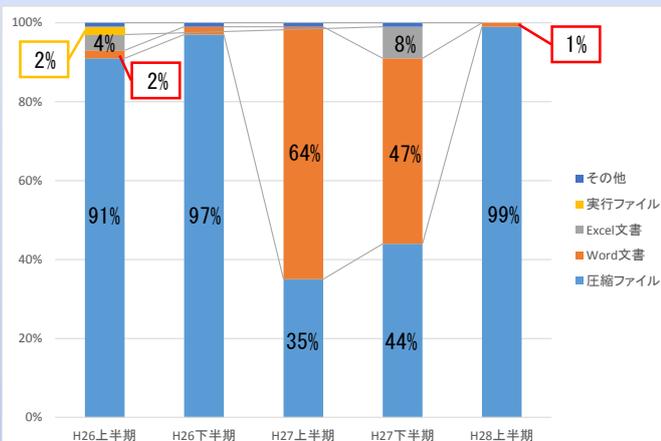


標的型メール攻撃の手口がますます巧妙化しており、平成28年上半期の統計から見た最新の手口を紹介いたしますので、被害防止の参考にして下さい。

○ **非公開のメールアドレスへの攻撃が大多数を占める**
 標的型メール攻撃の送信先メールアドレスは、インターネット上で公開されていないものが全体の81%を占めており、攻撃者が攻撃対象の企業や職員を調査し、周到な準備を行った上で攻撃を実行している様子がかがえる。

○ **送信元メールアドレスは部内の人間などをかたる**
 標的型メールの送信元メールアドレスは、攻撃対象の事業者自身(部内の人間等)をかたるものなど、偽装されていると考えられるものが全体の91%を占めている。

○ **添付されたファイルは圧縮ファイルがほぼ100%**
 標的型メールに添付されたファイルの形式については、圧縮ファイルが全体の99%を占めている。また、圧縮されていたファイルについては、「.exe」形式ファイル(実行ファイル)が最も多く、今までほとんど報告のなかった「.js」形式ファイル(JavaScript ファイル)が急増した。



標的型メールに添付されたファイル形式の割合



圧縮ファイルで送付されたファイル形式の推移

サイバー犯罪(インターネットに関する犯罪)の通報やご相談は...

石川県警察本部生活環境課サイバー犯罪対策室



076-225-0110



cyber@police.pref.ishikawa.lg.jp